

$\left[\begin{matrix} C1 \\ C2 \end{matrix} \right]$ -2025- 人間科学

専門(記述式)試験問題

注 意 事 項

1. 問題は**6題**あります。このうち**任意の2題**を選んで解答してください。
2. 解答時間は**3時間**です。
3. 答案用紙の記入について
 - (ア) 答案は濃くはっきり書き、書き損じた場合は、解答の内容がはっきり分かるように訂正してください。
 - (イ) 問題**1題につき1枚**(両面)を使用してください。
 - (ウ) 表側の各欄にそれぞれ必要事項を記入してください。
問題番号欄には、解答した問題の番号を記入してください。
 - (エ) 試験の公正を害するおそれがありますので、答案用紙の切取線より下の部分に氏名その他解答と関係のない事項を記載しないでください。
4. この問題集は、本試験種目終了後に持ち帰りができます。
5. 本試験種目の途中で退室する場合は、退室時の問題集の持ち帰りはできませんが、希望する方には後ほど渡します。別途試験官の指示に従ってください。なお、試験時間中に、この問題集を切り取ったり、転記したりしないでください。
6. 下欄に受験番号等を記入してください。

第1次試験地	試験の区分 人間科学	受験番号	氏 名
--------	---------------	------	-----

指示があるまで中を開いてはいけません。

途中で退室する場合……………本試験種目終了後の問題集の持ち帰りを 希望しない

【No. 1】～【No. 6】から**任意の2題**を選択して解答してください。

(心理学に関連する領域)

【No. 1】 記憶に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 記憶の系列位置効果について、その現象を説明しなさい。

現在、著作権者等への許諾手続中です。

(心理学に関連する領域)

【No. 2】 次の文章を読み、以下の問いに答えなさい。

子どもが暴力、虐待、誘拐、事故の被害を受けたり、これを目撃したりするなど、子どもが被害者や重要な参考人となる事案が増加している。虐待や暴力などを受けた子どもは、逃げるできない状況で持続的あるいは反復的なストレスにさらされた結果、複雑性心的外傷後ストレス障害（complex post-traumatic stress disorder、以下「CPTSD」という。）が生じる場合がある。

(1) CPTSDや心的外傷後ストレス障害（post-traumatic stress disorder、以下「PTSD」という。）に関する以下の問いに答えなさい。

- ① CPTSDとPTSDの違いについて言及した上で、両者に共通する主な症状や中核となる特徴について、5～6行で説明しなさい。
- ② PTSDへの主要な支援法について、以下の三つのうちから一つを選び、その方法について3～4行で説明しなさい。

持続エクスポージャー法（PE法）、眼球運動による脱感作と再処理法（EMDR）、
認知処理療法（cognitive processing therapy: CPT）

現在、著作権者等への許諾手続中です。

このことに関する以下の問いに答えなさい。

(次ページに続く)

① 司法面接において、面接は原則として一度だけ行い、録画・録音することとされているのはなぜか、心理学的観点から説明しなさい。

② 司法面接における面接手続の構造化について、自由報告やオープン質問を主体とし、クロズド質問は控えるという質問の仕方の要素が含まれているのはなぜか、心理学的観点から説明しなさい。

(3) PTSDは物質関連症を併存するリスクがあり、成人のPTSD患者ではその併存率に性差がみられるという指摘がある。これを踏まえ、子どものPTSD患者において、「物質関連症に性差がみられるか」を実証的に検討するための研究計画について、①調査手続、②分析方法とその分析方法における帰無仮説、③倫理的配慮の3点を具体的に述べなさい。

なお、対象者はある病院における子どものPTSD患者とし、PTSDを発症していない者は今回の研究対象とはしない。研究において、各対象者は以下のようにコードするものとする。

- ・物質関連症の併存の有無：0（併存なし）、1（併存あり）
- ・性別：0（女性）、1（男性）

(教育学、福祉及び社会学に関連する領域)

【No. 3】 以下の問いに答えなさい。

- (1) 現代の我が国において、孤独・孤立への対策が重要な政策課題となっている。国は、孤独・孤立対策として、孤独・孤立対策担当室の設置、孤独・孤立の実態把握に関する全国調査の実施、官民連携のプラットフォームの設置、孤独・孤立対策推進法の制定等の取組を行ってきた。

孤独・孤立がどのような問題であるかを示した上で、我が国において孤独・孤立の問題が深刻化してきた歴史的・社会的な背景を述べなさい。また、孤独・孤立によってもたらされる社会問題について具体的に論じ、孤独・孤立への対策が重要な政策課題である理由について説明しなさい。

- (2) 以下の問いA、B、Cのうち、いずれか一つのみに答えなさい。

なお、解答に当たっては、選択した問いを、解答の冒頭に **A** のように記すこと。

- A. 我が国の教育基本法では、教育における機会の平等に関して、すべて国民は、ひとしく、その能力に応じた教育を受ける機会を与えられなければならない旨が定められている。これを踏まえ、教育における機会の平等を実現するために必要と考えられる教育方法や教育環境について、以下の に示す観点のうちから三つを選び、いずれの観点を選んだか明記した上で、それぞれの観点から具体的に論じなさい。

所得、障害、ジェンダー、国籍、宗教、家庭環境、才能

- B. 国立社会保障・人口問題研究所が令和6（2024）年11月に公表した『日本の世帯数の将来推計（都道府県別推計）』（令和6（2024）年推計）（以下「社人研推計」）によると、以下のような推計結果が示された。

以下の推計結果から導かれる、今後の我が国で拡大が予測される社会的な課題を説明した上で、地域福祉又は居住福祉の観点から、その課題に対して必要となる施策の方向性について、既存の施策を踏まえながら考察して記述しなさい。

* 社人研推計による推計結果（抄）

- ・ 平均世帯人員は全ての都道府県で減少が続く。平均世帯人員が2人を下回るのは、2020年の東京都のみから、2040年には26都道府県、2050年には34都道府県に増える。
- ・ 単独世帯の割合は全ての都道府県で上昇する。単独世帯の割合が40%を超えるのは、2020年では5都道府県であるところ、2050年には27都道府県に増える。

C. 孤独・孤立の問題が深刻化していく中で、近年、個人と個人を結ぶ社会的ネットワークに対する関心も高まっている。社会学における社会的ネットワークの研究を挙げながら、社会的ネットワークそれ自体がもつ利点や効果について説明しなさい。

(教育学に関連する領域)

【No. 4】 我が国における、人口動態の変化及び学校教育制度の多様化に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 1960年代、第1次ベビーブームの影響と高校進学率の増加が相まって、高校生人口が増加した。このような量的拡大が後期中等教育及び高等教育の制度にどのような変化をもたらしたか、それぞれ述べなさい。
- (2) 1980年代後半以降に高等学校の多様化が進み、様々な「特色ある」高等学校が全国的に新たに設立された。このような「特色ある」高等学校の例を一つ挙げ、その制度的特徴について成立背景に触れながら説明しなさい。
- (3) 近年の少子化に伴い、児童生徒数が減少した学校を対象として学校統廃合が多く行われるようになった。小中学校の統廃合を行うことの意義と課題について、①適正規模、②財政支出、③地域コミュニティの三つの観点からそれぞれ論じなさい。

(福祉に関連する領域)

【No. 5】 障害者施策並びに障害当事者及び障害当事者団体の活動に関する以下の問いに答えなさい。

(1) 我が国における障害者施策について以下の問いに答えなさい。

- ① 障害者雇用を促進するための制度について説明しなさい。
- ② 障害者に対して所得保障を行う制度について説明しなさい。

(2) 障害当事者の言葉や行動、活動の社会的意義を明らかにした上で、障害当事者団体が権利擁護の観点から果たしてきた役割とその歴史的経緯について具体的に説明しなさい。

(社会学に関連する領域)

【No. 6】 現代社会と監視に関する以下の問いに答えなさい。

- (1) 社会学における監視に関する理論又は学説について説明しなさい。なお、説明する理論又は学説は一つでも複数でも構わない。
- (2) 新型コロナウイルス感染症のパンデミック以降、現代社会においてより顕著となった監視の問題について、(1)で取り上げた理論又は学説を用いて論じなさい。

